

# 社会民主主義 フォーラム

## 全国 通信

No.25

2022 年  
4 月 4 日

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-6-9

DIK 麹町ビル 704 号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

## 参議院選挙に向けて政治セミナーを開催します

夏の参議院選挙は政権交代の足掛かりを築く重要な選挙です。コロナ禍での命と暮らしの課題、憲法めぐる危険な動きなど課題は山積みです。社会民主主義フォーラムは立憲民主党幹事長の西村智奈美衆院議員を招き、この選挙をどうたたかうかをテーマにセミナーを開催します。オンラインでも呼びかけます。ぜひご参加ください。

●日時：4月27日（水）午後6時～ ●会場：参議院議員会館B104会議室



## 地方は国の下請け機関ではない

公務員の給与改定で迫及 吉川はじめ衆院議員



吉川はじめ衆院議員は、通常国会では所属する総務委員会、文部科学委員会を中心にこれまで4回質疑に立ちました。

2月15日の総務委員会と翌16日の予算委員会分科会では、昨年分の国家公務員・地方公務員の給与改定が今年にずれこんだため、一時金の0.15ヵ月削減が今年夏の一時金で実施されることについて質問しました。

総務省は毎年、国の人事院勧告が閣議決定される際に、各自治体に対し、地方公務員の給与改定は「国に先行して行うことのないようにすること」とした副大臣通知（技術的助言）を出しています。しかし、6月の一時金支給時に昨年のマイナス分を調整するためには、地方は遅くとも3月議会で条例改正を行わなくてはならず、国家公務員の給与法改正が4月にずれ込む予定だったため、国に先行して地方公務員の給与改定を行わざるを得なくなりました。

吉川議員は、地方が国に先行して給与改定しても何ら問題が生じないことが明らかになった以上、地方を国の下請けの如く扱う「技術的助言」はやめるべきだと強く主張しました。

金子総務大臣は「ご意見は非常によく分かる。地方公務員給与の改定は国家公務員の給与に関する国会の議論に留意することが望ましいが、議員の意向はしっかり受け止める」と答弁しました。

「助言」に名を借りて、自治体の自立性・自主性を脅かし、地方の現場と職員に混乱をもたらす制度の改善に向け今後も努力を続けます。

## 処理水の海洋放出反対 2022原発のない福島を！県民大集会

「二度と福島の悲劇を繰り返さないよう、私たちは訴えます！福島を忘れないよう私たちは発信します。」をスローガンに、「2022原発のない福島を！県民大集会」が3月12日キョウワグループ・テルサホールで開催されました。

この集会は、県平和フォーラムが中心になり県の漁業組合、森林組合、農協組合、生活協同組合などの生産・産業団体や県女性団体などで実行委員会が構成され「オール福島」で開催されました。県社会民主主義フォーラムも今回から主催団体になりました。

角田実行委員長（県平和フォーラム）は挨拶で「放射能によって奪われた安全安心を確保し、県民の健康、被害者の賠償、生活支援を国と東電は最後まで責任を持て」と訴えました。その後古今亭菊千代師匠や第24代高校生平和大使の3名（写真）から挨拶や報告を受けました。さらに小山良太郎・福島大教授から「ALPS処理水の海洋放出」について問題提起が行われ、最後に「2022県民大集会アピール」を採択し、政府と東電への交渉を確認しました。



## 各県で総会開かれる 会員拡大や各選挙闘争勝利を決意

### 課題ごとに委員会づくり活動を継続

#### 東京第2回総会



社民フォーラム東京は3月19日（土）、都内で第2回総会を開催しました。総会には中央の中川事務局長から「全国の社民フォーラム建設の現状と課題」について、また総会二部の「記念講演」では運営委員の横田昌三さんから「今日の政治情勢と社民フォーラムの課題」で問題提起を受けました。

社民フォーラム東京は2021年3月6日の結成総会から「メルマガ通信」を毎週発信（まもなく60号）してきました。具体的な活動は政治政策委員会、平和人権環境委員会、労働運動委員会、女性と権利委員会、自治体政策委員会、社民フォーラム東京議員団会議で討議をすすめてきました。

総会では、社会民主主義の理念と政策を労働組合、地域の活動の中で学んでいくこと、2022参院選に向けた取り組み、2023統一自治体選に向けた態勢づくりに着手していくことを確認しました。また、労働組合や市民団体等との連携強化を通して次世代との繋がり、会員拡大していくことを確認しました。

### 坂井市議選で伊藤ヒロミ候補の当選を

#### 福井結成総会



3月20日、福井市の県教育センターにおいて社民フォーラム福井の結成総会が開かれました。31名が出席し中央からは中川直人事務局長が駆けつけました。総会では巳寅令子さんを議長に選出し、あいさつに立った結成

準備会の龍田清成代表は「社民フォーラムを難しく考えないで社民党の同窓会だと思ってもらいたい」（※社民党の元議員は最後まで結束していくとの意味）と述べました。

運動課題として、社会民主主義を学び会員の交流を深めること、反原発福井県民会議やピース福井などと連携することなどを確認しました。総会終了後に中川事務局長から、全国状況やフォーラムの位置づけなどについてミニ講演をいただきました。また病気治療のため出席できなかった吉田琴一前福井市議の早期回復を祈って全員の「寄せ書き」を送りました。さらに4月10日に告示される坂井市議会議員選挙での伊藤ヒロミさん（立憲民主党公認・労金労組出身）の当選を勝ち取るため全力を挙げることを決意しました。

### 会員を拡大し反自民の勢力拡大へ

#### 富山第2回総会



3月26日（土）に約60名の会員出席の下『第2回社民フォーラム富山定期総会』を開催しました。総会では冒頭、岡崎代表から「ウクライナ戦争反対の取り組みを強化する中で若者への働きかけを強めよう」との呼びかけがなされました。

質疑では、ウクライナ戦争を逆手にとった「核共有・憲法9条改憲」の動きに対する懸念や、小学校再編問題やSDGsを含む道德教育の在り方など子どもの教育環境に関する運動課題の必要性が強調されました。他方で地域における自民党の影響力が強い富山での選挙闘争の困難性を克服するためにも、社民フォーラムとして連合富山や残留した社民党への対策の必要性を訴える意見が出されました。

これを受け執行部からは「立憲民主党とも十分な連携を取りながら、社民党のみならず労働組合や各種民主団体との意見交換の場を設け、富山での反自民の勢力拡大に努めていきたい。そのためにも担い手である会員拡大に努めよう。」との答弁があり、全体の拍手で承認し総会を終えました。